

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 36

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		ほたて漁場造成事業				
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	水産係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	課長補佐兼水産係長
		氏名	石井 弘道		氏名	大石 嗣夫
事業の概要	ホタテ漁場(4海域)のヒトデを駆除し、放流稚貝の生存率の向上を図るための事業を実施している漁業協同組合に補助金を交付している。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 23 年度)	
事業費	国・道支出			千円		
	地方債			千円		
	その他			千円		
	一般財源			13,200 千円		
	事業費計			13,200 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~			
	基本施策	3	水産業の振興			
	単位施策	1	水産資源の保護・増大			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	3,300 千円	3,300 千円	3,300 千円	3,300 千円	千円
	合計	3,300 千円	3,300 千円	3,300 千円	3,300 千円	千円

131

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内漁業者	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	ヒトデによる食害	漁場造成面積			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ヒトデの駆除	指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
			漁場造成面積	目標年度	平成21年度
				目標値	3,175 ha
				実績値	3,175 ha
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	ヒトデの駆除及び漁場造成により、ヒトデの食害を減少し、放流稚貝の生存率の向上を図る。	ヒトデ駆除数量	目標年度	平成21年度	
			目標値	150,000 Kg	
			実績値	73,030 Kg	
			達成度	48.68667 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
事業実施機関への助成	平成20年度本操業海域(幌内沖D海域)のホタテ漁場3,175haを10~15t型漁船9隻によりヒトデの駆除を行った。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず加工業者にも影響のあるものであり、本町の水産業の安定化には必要不可欠な事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	ヒトデの駆除及び漁場造成により、ヒトデによる食害が減少し、放流稚貝の生存率の向上につながっている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	ホタテ稚貝放流前のホタテ漁場造成により、ヒトデの駆除を図っているものであり、コスト削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず加工業者にも影響のあるもので、水産業の安定化には必要不可欠であり、事業主体が全体事業費の約95%を自己財源としている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず加工業者にも影響のあるものであり、本町の水産業の安定化には必要不可欠な事業である。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>継続 / 現状維持</b>		
ホタテ漁業の安定化を図る上で必要不可欠な事業であり、補助支援の継続実施(平成23年度迄)が必要である。			
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--